食物負荷試験 （PED019）

ステップ名称			入院
			1日目
患者状態			■アレルギーの症状・所見がない ・SP02【適正値：≧90%】 ・呼吸困難がない ・嘔吐がない ・皮膚に発赤・掻痒感・しびれ・熱感 ・咽頭不快感がない
知識・教育・理解			■検査について理解できる ・検査に対する不安の訴えがない
投薬			
注射			
医師	処置		医師の指示に基づいて、負荷試験を行う食物を摂取します。 少量から摂取し、徐々に摂取量を増やしていきます。 負荷試験を行う食物は（　　）です。
			異常の早期発見のために心電図モニター、パルスオキシメーターを装着します。
	指導		
	指示		トイレに行けます。それ以外はベッド上で安静にしていてください。
			体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。
	対症指示		
検査	検体検査		
	生理検査		
	放射線		
	その他		
輸血			
手術			
看護	日常生活ケア	清潔	
		排泄	
		その他	
	指導・教育		クリニカルパスの説明をします。
			検査当日は8：30までに直接南館7B病棟（小児科病棟）へお越しください。 入院後、医師の診察があります。 医師の指示がある場合は点滴を開始します。点滴は退院まで継続します。 食物負荷試験を行う食材は（　　）です。 負荷試験を行う食材の取り扱いは別紙を参照ください。 負荷試験を開始します。医師の指示量を、時間をおいて摂取していただきます。 食物負荷試験開始時から15分後、30分後、45分後、60分後、90分後、120分後に体温、脈拍、血圧の測定を行い、全身状態の観察を行います。 負荷試験を行う食物を摂取した後に、ぜいぜいする、咳、蕁麻疹、腹痛、嘔吐などの症状が出た場合はすぐに看護師にお知らせください。 当日はお気に入りの食器、飲み物（負荷試験を行う素材の入っていないもの）を持って来てください。飲み物をご用意ください。 負荷試験は2時間程度で終了予定ですが、アレルギー症状によっては翌日まで入院が継続になる場合があります。 自宅に帰っても負荷試験開始時間から24時間まではアレルギー症状が出現する可能性があります。症状が出た場合は処方された薬を内服してください。症状がひどい場合は受診をしてください。
	観察		
	その他		
食事			食事の制限はありませんが、負荷試験を行う食物が摂取できなくなる可能性があるため、負荷試験終了までは間食は控えてください。 水分は制限はありませんが、飲みすぎないようにしてください。 昼食より食事摂取出来ます。入院時アレルギーをお知らせください。ご自宅で昼食を用意していただいても構いません。
栄養指導			
リハビリ			
文書			入院時、食物負荷試験同意書、入院誓約書及び支払保証書を提出してください。
カルテ	医師		
	看護師		
	コメディカル		
コメント			
指導料・加算			